

臨床放射線

編集委員

今井 裕
後閑 武彦
栗原 泰之
橋本 順
森 壘
中村 和正

編集協力委員

畠中 正光
小川 恭弘
松永 尚文
森 宣
村田 喜代史
淡河 恵津世
西山 佳宏

編集後記

▶いつも本誌をご晶頂いただき、まことにありがとうございます。東大放射線医学講座あらため自治医科大学医学部放射線医学講座の森でございます。誌面を私物化して蟹聲ものですが、異動のご報告です。編集委員の森が本年3月で東京大学を辞し、自治医科大学に奉職することになりました。赴任先の栃木では緊急事態宣言もひと足先に解除され、コロナ騒動もようやく落ち着きつつあったはずなのですが、不気味にくすぶり続けています（編集後記を書いている9月時点でも相変わらず近隣でポツポツとクラスターが発生しています）。ただでさえ、コロナのおかげでいろいろ後回しになっていたことがどっと押し寄せて来ているなかで、今後も大変な状況はしばらく続きそうです。各種会合をwebではなくリアルに再開しようという機運も全国で湧き起こっています。しかし、残念ながら当施設の新型コロナウイルス感染状況に関するレベル別対応表の規定では、出張自粛に関して少なくとも年度内は解けそうになく、皆さまとはなかなかお会いする機会が持てません（特に、海外の学会への参加は絶望的です）。とても残念ですが、各方面での事態の改善を待ちたいと思います。

▶今月号の特集は「脳アミロイドPET診療を開始するにあたって」です。正直に申し上げます、診療も研究も脳アミロイドイメージングから脳タウ蛋白病変イメージングへと比重が移ってきているのですが、そのような将来に備えて疾患修飾薬の実用化後の評価方法や、適正使用ガイドラインの扱いに慣れておくのは、とても良い機会だと思います。

▶診療論文では、食道癌N1患者の解析からN0症例に適した照射野範囲の検討（荻野論文）、去勢抵抗性前立腺癌に対するルテシウム177PSMAラジオリガンド治療は進行癌の多さに比して有効性が高く有害事象は少ないという報告（三木論文）、悪性リンパ腫診療でFDG-PET/CTに加えて背景抑制広範囲拡散強調画像を利用する工夫（河野論文）などの取り組みがあり、皆さんの診療における熱意が伝わります。

▶症例論文や「今月の症例」では、肺動脈本幹部の真菌血栓症（長尾論文）、悪性腫瘍と見まがうようなARMD（浦田論文）、放射線化学療法で注目すべき合併症（内田論文）など単一施設では出会うことが少ない貴重な症例を誌上で経験できます。

▶好評の連載も毎月楽しみです。診療ガイドラインの解説（立石論文）や放射線の基礎知識（古川先生）について体系的に学べます。

▶毎回、同じ思いを開陳して申し訳ございませんが、何度でも記します。投稿や症例を大切に「臨床放射線」は特異な編集方針を持つ稀有な雑誌であり、今後も皆様の活発なご投稿によって一緒に盛り立てていただければと切に願います。

森 壘

「臨床放射線」第65巻第11号

2020年10月10日発行（毎月10日発行）

定価（本体2,600円＋税）

年間購読料金 定価（本体39,700円＋税）

[年間13冊（臨時増刊号を含む）の誌代]

年間予約購読者に限り送料無料

発行所 金原出版株式会社

発行者 福村 直樹

〒113-0034 東京都文京区湯島2-31-14

TEL 03 (3811) 7165 編集部直通

TEL 03 (3811) 7184 営業部直通

FAX 03 (3813) 0288

ホームページ <http://www.kanehara-shuppan.co.jp/>

振替口座 00130-1-191269

印刷所 三報社印刷株式会社

広告申込先 福田商店 TEL 06 (6941) 5600

FAX 06 (6941) 5605

本誌に掲載する著作物の複製権、翻訳・翻案権、上映権、譲渡権、公衆送信権（送信可能化権を含む）、貸与権、二次的著作物への利用に関する原作者の権利は、金原出版株式会社が保有します。

JCOPY <出版者著作権管理機構 委託出版物>

本誌の無断複製は著作権法上での例外を除き禁じられています。複製される場合は、そのつど事前に、出版者著作権管理機構（電話 03-5244-5088、FAX 03-5244-5089、e-mail info@jcopy.or.jp）の許諾を得てください。